**IWS君とリテラちゃんの画面解説**

# IWControlView

取扱説明書 | 画面の赤枠と番号を見ながら操作




## 画面・声・教材を、教室でつなぐ。

初回接続・登録・操作・教材転送・通話
教師側と生徒側を区別し、操作ごとに1ページ。

表紙は利用イメージです。本文の画面種別は各ページに明記しています。

目次と読み方

# 必要な操作を選んでください

赤枠①②③と、その下の同じ番号の説明が対応します。


| | | |
|---|---|---|
| 01 | 生徒用の共通環境を設定する | 4 |
| 02 | 教師用の共通環境を設定する | 5 |
| 03 | 準備・初期実行の順に置く | 6 |
| 04 | 生徒側で一時コードを発行する | 7 |
| 05 | 教師側で一時コード接続をする | 8 |
| 06 | 生徒側で閲覧を許可する | 9 |
| 07 | 生徒側で教師PCを登録する | 10 |
| 08 | 教師側で登録接続を保存する | 11 |
| 09 | 次回は登録済みPCへ接続する | 12 |
| 10 | 閲覧から操作へ切り替える | 13 |
| 11 | 教材フォルダーを許可する | 14 |
| 12 | 転送先と書き込み許可を確認する | 15 |
| 13 | 教材を送る | 16 |
| 14 | 回答ファイルを受け取る・中止する | 17 |
| 15 | 生徒側で音声権限を開く | 18 |
| 16 | 個別通話・聞くだけの権限を選ぶ | 19 |
| 17 | 音声の機器・音量を設定する | 20 |
| 18 | 1人の生徒と通話を始める | 21 |
| 19 | 教師の声をグループへ送る | 22 |
| 20 | マイクを止める・通話を終える | 23 |
| 21 | 授業用アプリ・トリガーを許可する | 24 |
| 22 | 切断して授業を終える | 25 |
| 23 | 教師側の間違えた登録を削除する | 26 |
| 24 | 生徒側で登録許可を取り消す | 27 |


はじめに p.3 / 補足・困ったとき p.28以降

**画面の見方**

現行Web画面は、アプリの画面データに説明用の値を表示したものです。IWSeditor・ControlView・ルーター等は再現画面と明記しています。赤枠は操作箇所、最下部の「確認」は作業のゴールです。

はじめに

# どちらのPCで行うかを確認

各ページの見出しの下に、作業するPCと画面名を示します。

| | |
|---|---|
| **教師側Console** | 生徒の画面を見る・操作する・教材を送る・通話を依頼します。共通環境はrole=teacher。 |
| **生徒側Agent** | 受付し、教師PCを登録して権限を設定します。共通環境はrole=student。Agentが受付中であることが必要です。 |
| **一度だけ行う設定** | 両側の登録、画面・操作権限、必要な教材フォルダーと音声権限。日々の授業は許可済みの設定をSEEDから利用します。 |

**LAN内で使います**

本版はIWStation連携のLAN向けです。Windows共有・Apache・公開IP契約・インターネット用ポート転送は不要です。両側に同じ対応版を導入してください。

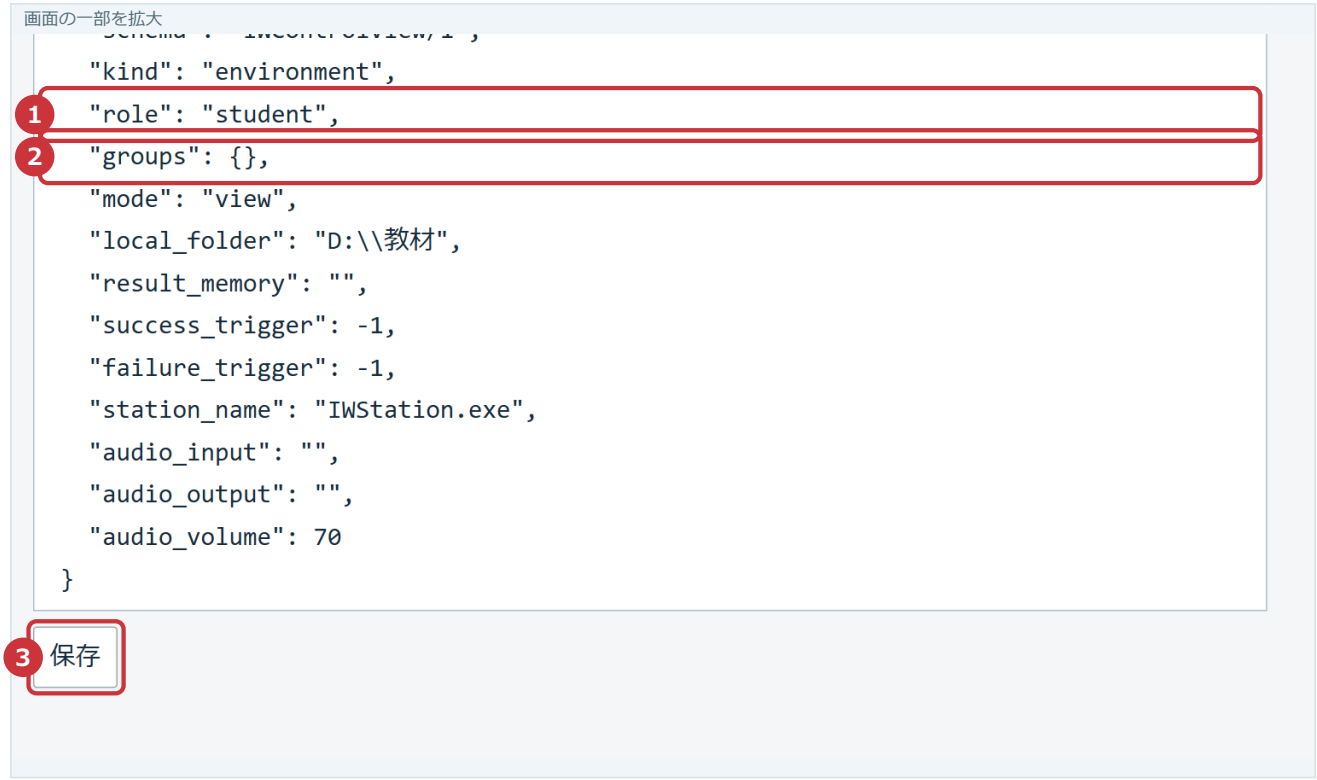
**現在の範囲**

教師側は最大4接続、操作は1台ずつ、生徒Agentへの接続は1台です。UAC・ロック画面の操作、スリープ解除、PC内部の動画音声の配信、PC間クリップボード共有は対象外です。

操作 01

# 生徒用の共通環境を設定する

生徒PC / IWSeditor




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

**1 roleをstudentにする**
生徒側のAgentとして起動する設定です。

**2 グループは空でよい**
生徒側のgroupsは{}にします。

**3 設定を保存する**
準備のアプリ起動時に渡す共通環境として保存します。

**確認：生徒側SEEDの実行でAgentが開き、受付する。**

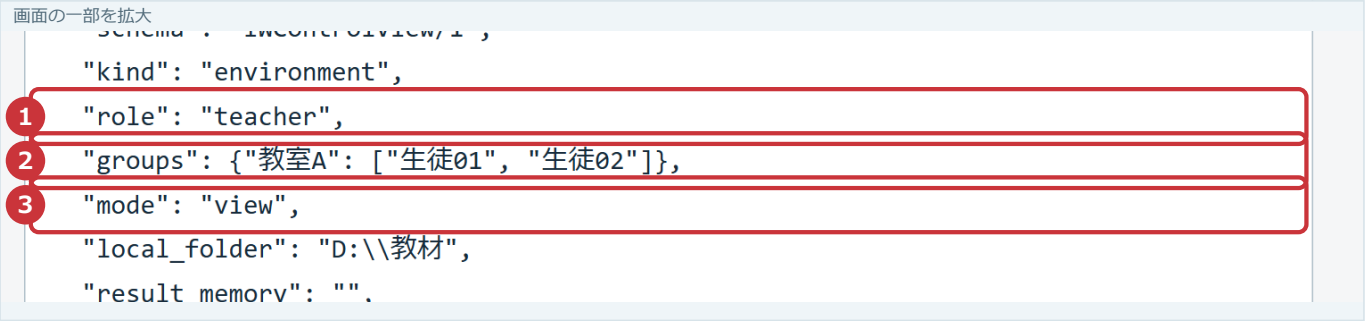
Windowsへログインしておく必要があります。UAC・ロック画面やスリープ解除は対象外です。

操作 02

# 教師用の共通環境を設定する

教師PC / IWSeditor

画面の一部を拡大




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **roleをteacherにする**
教師側のConsoleとして起動します。

2 **登録名でグループを作る**
実際に登録した生徒PC名を指定します。1グループ最大4台です。

3 **基本モードを指定**
viewは閲覧。controlでも相手の許可を超える操作はできません。

**確認：共通環境を保存し、教師側Consoleを開ける。**

IWSeditorは現在テキスト編集です。専用の設定フォームが追加された画面ではありません。CP932で保存します。

操作 03

# 準備・初期実行の順に置く

教師PC / IWStation




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **準備で起動・共通設定**
IWControlViewの起動と共通環境を準備へ置きます。

2 **依頼を読み込む**
初期実行で、今回行う閲覧・操作・通話などの設定を渡します。

3 **実行し、完了を確認**
実行依頼の後に同期確認で完了を待ちます。

**確認：共通環境と今回の依頼を分けて設定できた。**

受付の完了と、作業全体の成功は別です。修正済みひな型SEEDの構成を使います。

操作 04

# 生徒側で一時コードを発行する

生徒PC / Agent




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **接続先アドレスを伝える**
教師側の「相手PC」へ入れる情報です。

2 **一時コードを発行**
発行した10桁を教師へ伝えます。

3 **古いコードを使わない**
5分間・成功1回限りです。再発行したら新しいものへ入れ替えます。

**確認：教師へ、接続先アドレス・ポート・10桁コードを伝えた。**

受付していない場合は「接続受付を開始」を先に行います。図のコードは説明用です。

操作 05

# 教師側で一時コード接続をする

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **相手PC欄へアドレス**
生徒Agentに表示されたアドレスを入れます。ポートは通常62441です。

2 **一時コード欄へ10桁**
古い入力はCtrl+Aで全部選び、入れ替えます。

3 **接続するを押す**
次に生徒側で接続要求を確認します。

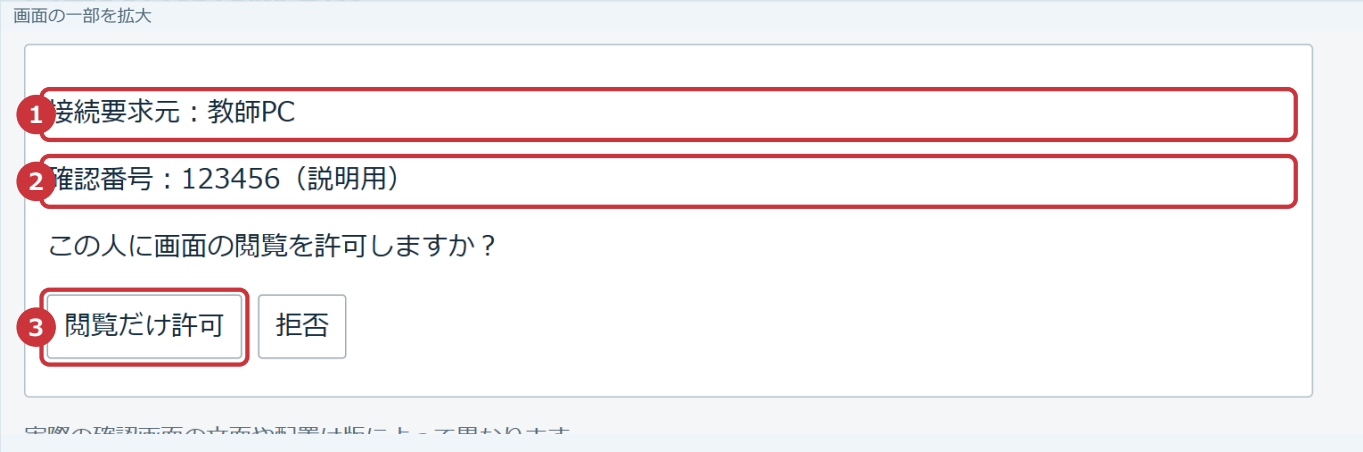
**確認：生徒側へ接続確認の要求が出る。**

PC名・IPと一時コードは別です。入力欄のコピー・ペーストはCtrl+C／Ctrl+Vで使えます。

操作 06

# 生徒側で閲覧を許可する

生徒PC / 接続確認




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **接続元を照合**
接続したい教師PCからの要求か確認します。

2 **確認番号を照合**
両側に表示される確認番号を照合します。

3 **閲覧を許可する**
相手が正しければ閲覧を許可します。操作の許可は別です。

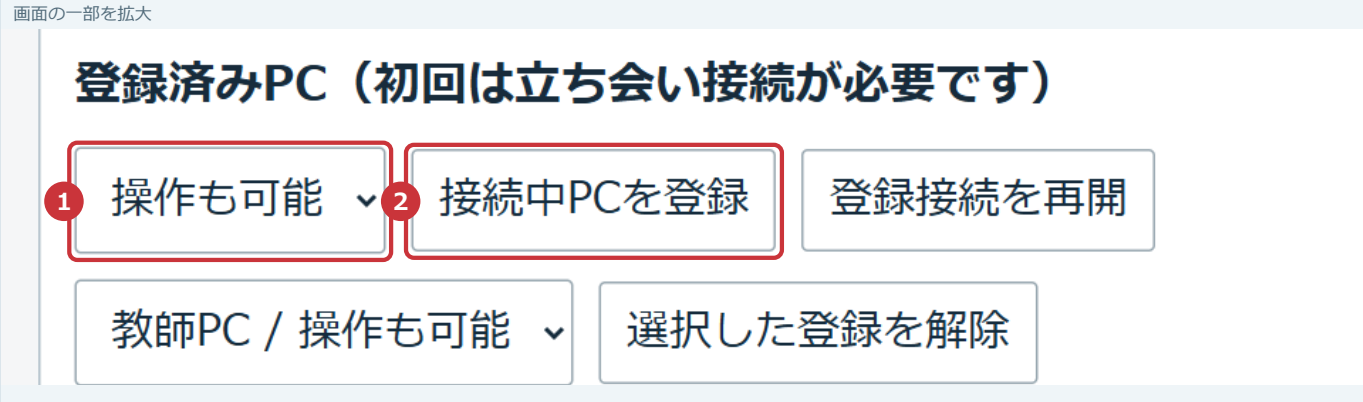
**確認：教師Consoleに生徒の画面が出る。**

確認画面の文面・配置は配布版で異なります。意図しない要求は拒否します。

操作 07

# 生徒側で教師PCを登録する

生徒PC / Agent




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **権限を選ぶ**
閲覧だけ、または操作も可能を選びます。

2 **接続中PCを登録**
接続元が正しい教師PCであることを確認して保存します。

**確認：生徒Agentの登録一覧に教師PCが出る。**

このボタンは生徒側にあります。次に教師側でも「登録接続を保存」を行います。

操作 08

# 教師側で登録接続を保存する

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **登録接続を保存**
相手の映像が出ている接続枠で押します。

2 **登録先を確認**
上部の登録済みPC一覧へ生徒PCが出るか確認します。

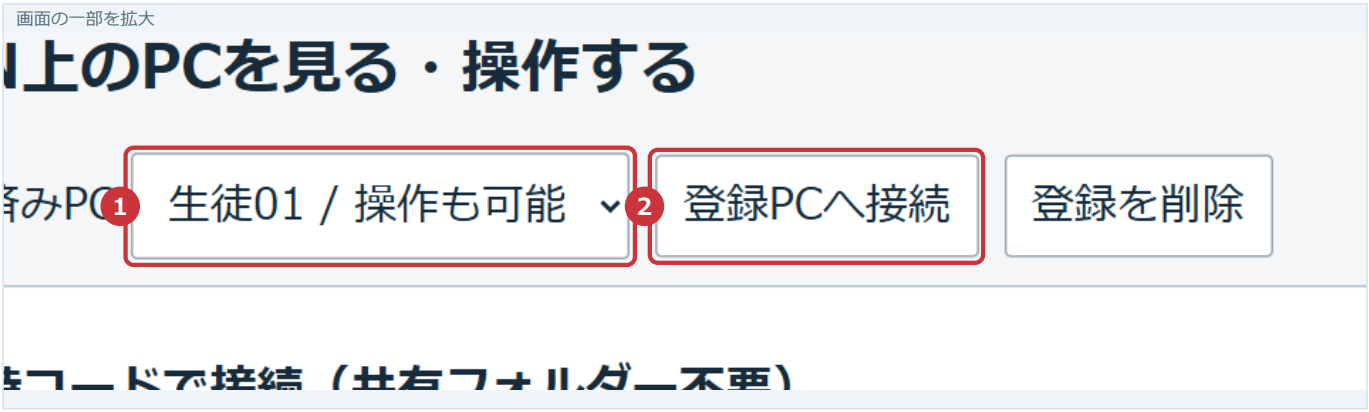
**確認：両側に登録が保存された。**

Windowsユーザー変更や再導入後は、再登録が必要になる場合があります。

操作 09

# 次回は登録済みPCへ接続する

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **生徒を選ぶ**
登録済みPC一覧から、接続する相手を選びます。

2 **登録PCへ接続**
生徒Agentが受付中なら、一時コードを毎回発行せず接続できます。

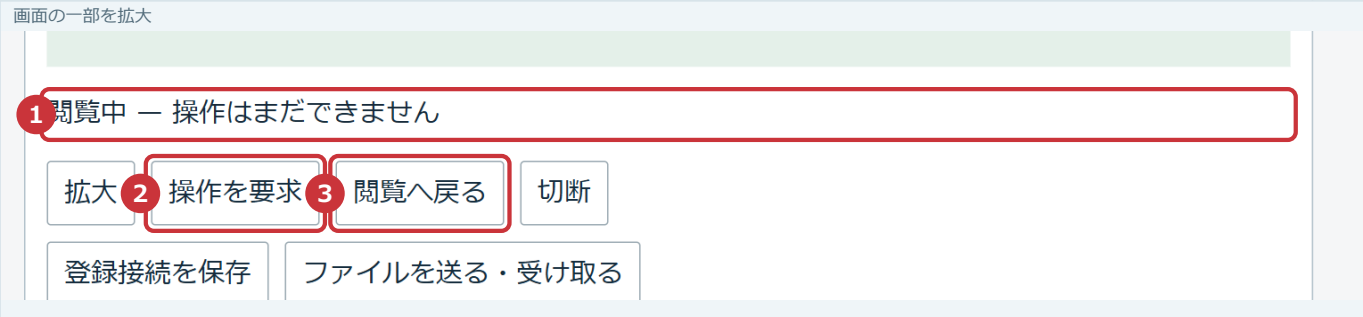
**確認：一時コードなしで登録した生徒の映像が出る。**

生徒側で登録接続が一時停止中なら、Agentの「登録接続を再開」を確認します。

操作 10

# 閲覧から操作へ切り替える

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **現在の状態を見る**
「操作も可能」という保存権限と、現在「閲覧中」という状態は別です。

2 **操作を要求する**
いま映像が出ている枠で押します。立ち会い接続では相手が操作を許可します。

3 **操作を終えたら閲覧へ**
閲覧へ戻ると、押下状態を解放します。

**確認：表示が操作可能な状態へ変わり、相手の通常画面を操作できる。**

操作可能で登録した接続では、相手の都度確認を省けます。操作は1台ずつです。

操作 11

# 教材フォルダーを許可する

生徒PC / Agent




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **フォルダーを選ぶ**
送受信用の専用フォルダーを選びます。

2 **必要なら常時許可する**
登録済み教師へ毎回使わせる場合に設定します。

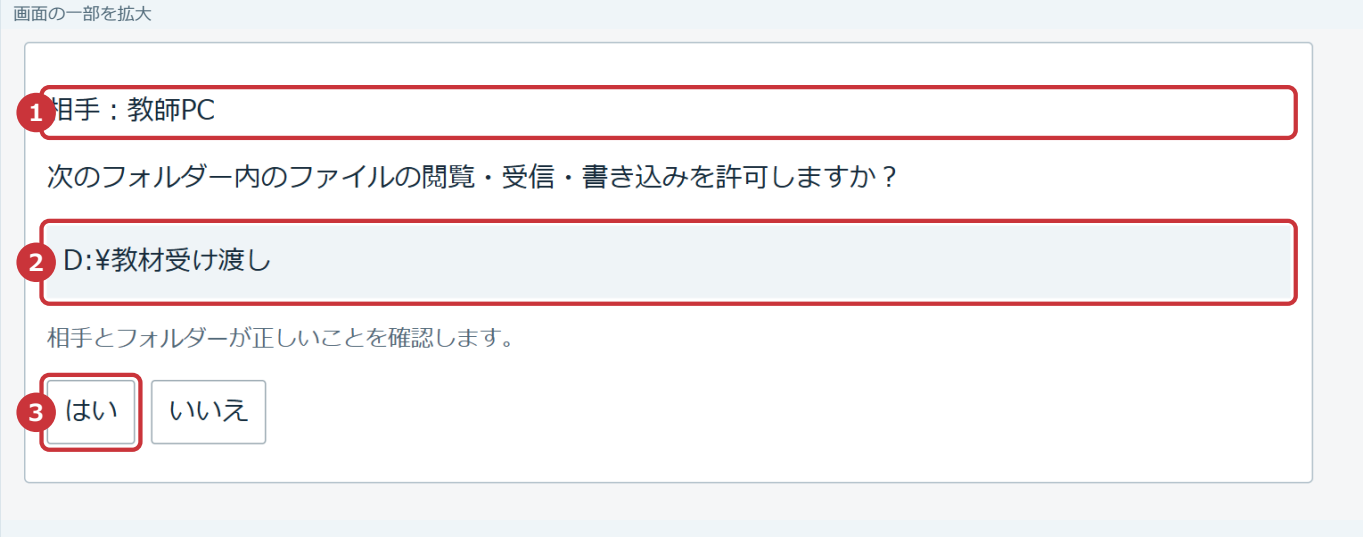
**確認：相手とフォルダーを確認する許可画面が出る。**

画面の操作許可だけでは、ファイル転送は使えません。許可する機能はそれぞれ別です。

操作 12

# 転送先と書き込み許可を確認する

生徒PC / 許可確認




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **相手を確認する**
意図した教師PCへの許可であることを確かめます。

2 **フォルダーを確認する**
送受信用の専用フォルダーになっているか確かめます。

3 **内容が正しければ許可**
その範囲の閲覧・受信・書き込みを許可します。

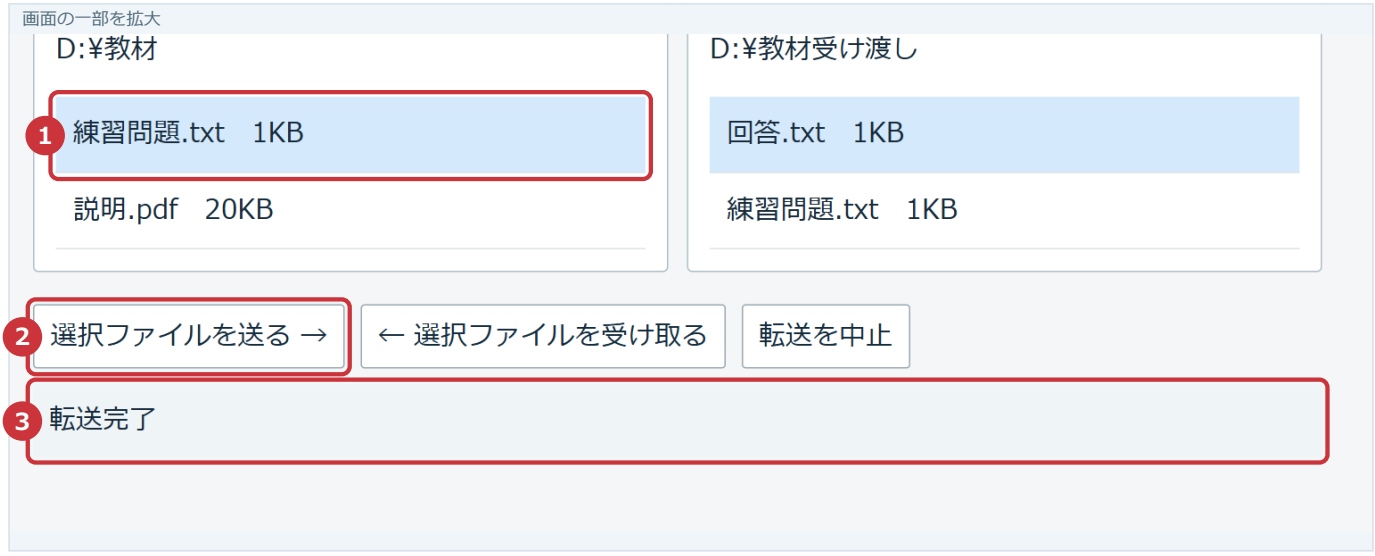
**確認：教師が許可済みフォルダー内を表示できる。**

Windows共有は不要です。常時許可でない一時許可は切断で解除されます。

操作 13

# 教材を送る

教師PC / ファイル転送




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **左側でファイルを選ぶ**
自分のPCの教材を1つ選びます。

2 **選択ファイルを送る**
右側が許可された相手のフォルダーか確認して送ります。

3 **完了と保存先を見る**
完了後に相手側でファイルが開けることまで確かめます。

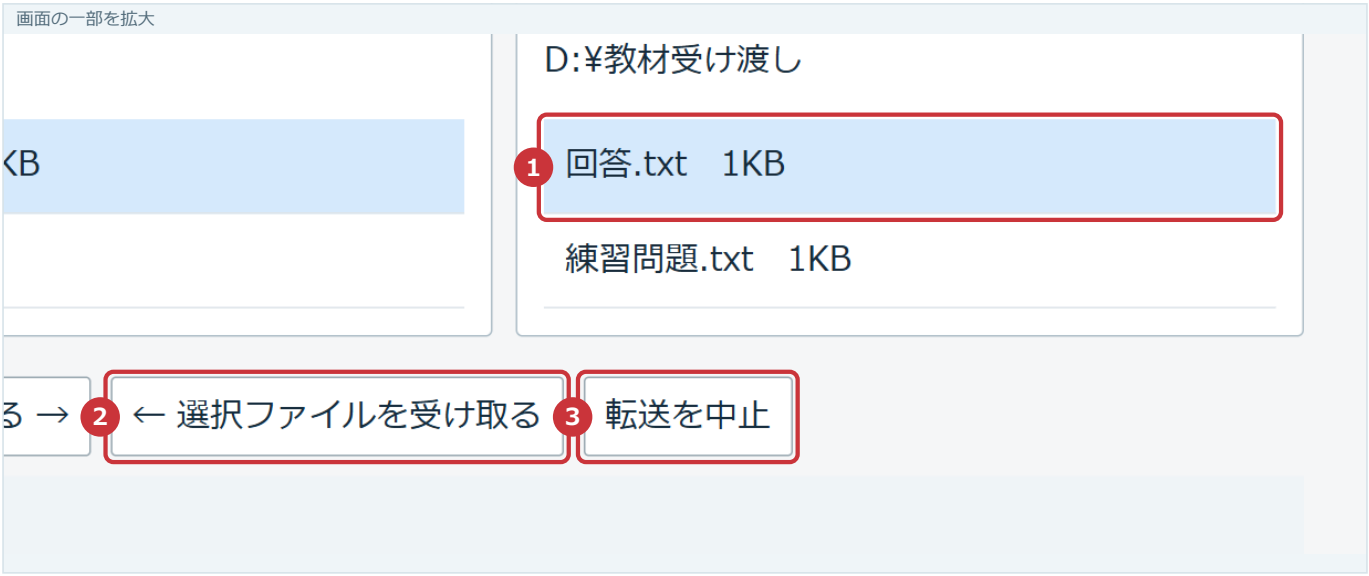
**確認：生徒の許可フォルダーへ届き、内容を開ける。**

Consoleの「ファイルを送る・受け取る」から開きます。1ファイル2GBまで。元ファイルは消しません。

操作 14

# 回答ファイルを受け取る・中止する

教師PC / ファイル転送




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **右側で回答を選ぶ**
相手の許可フォルダーのファイルを1つ選びます。

2 **選択ファイルを受け取る**
左側の保存場所を確認して受け取ります。

3 **途中でやめるときは中止**
同名ファイルの上書きは内容を確認して判断します。

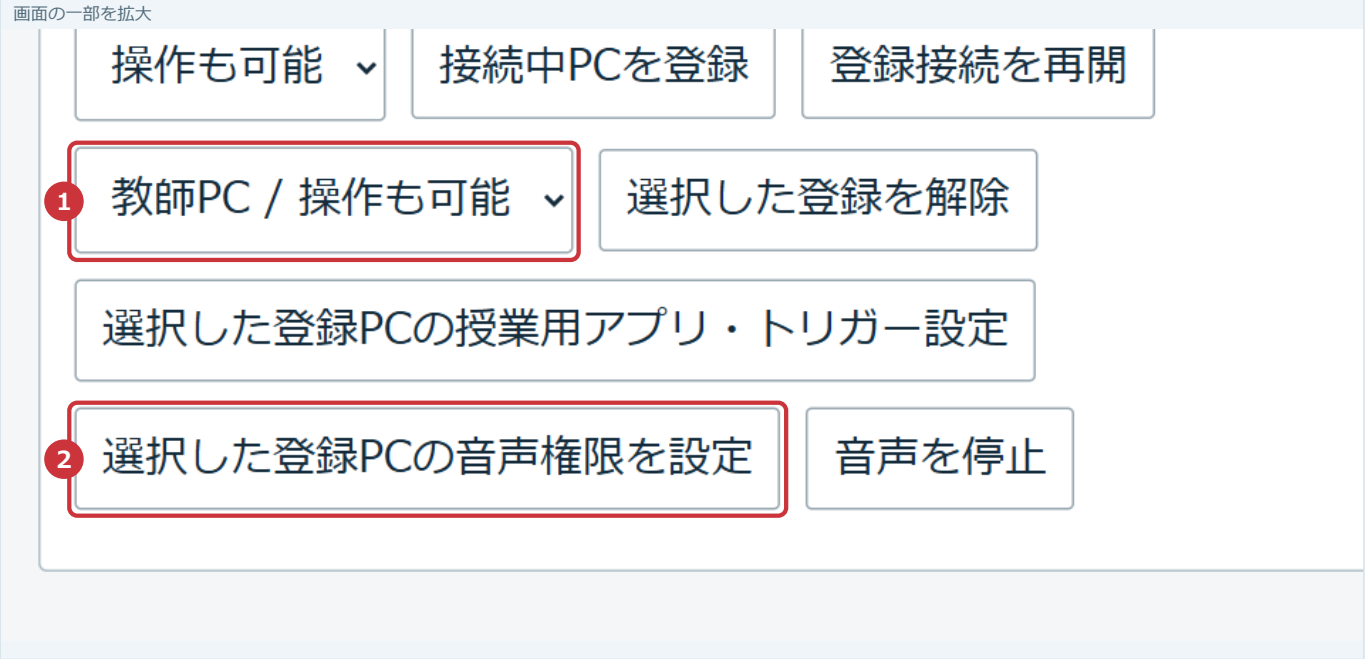
**確認：教師側の保存先へ回答が届き、開ける。**

フォルダー一括転送・途中からの再開は対象外です。強制終了や電源断では一時ファイルが残る場合があります。

操作 15

# 生徒側で音声権限を開く

生徒PC / Agent




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **登録済み教師を選ぶ**
一覧が空なら、先に両側で登録を保存します。

2 **音声権限の設定を開く**
画面・操作の許可とは別に、初回の音声許可を設定します。

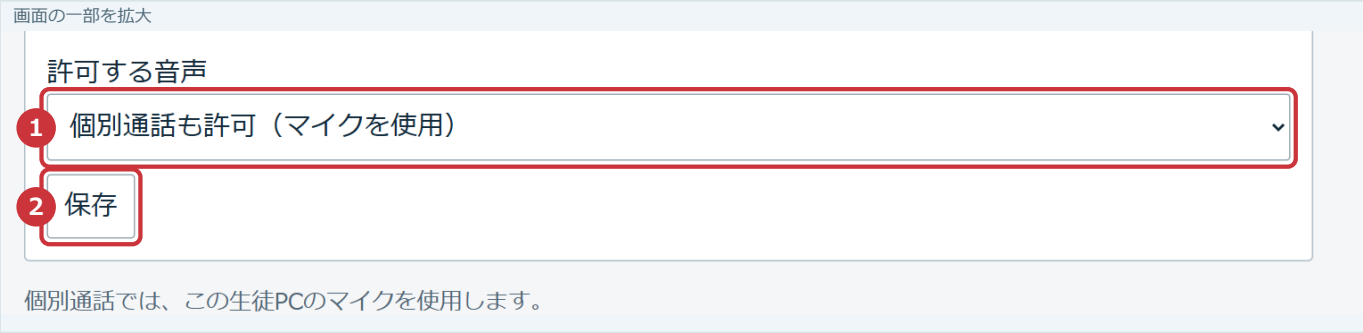
**確認：選んだ教師PCの音声権限画面が開く。**

接続しただけではマイクは始まりません。初期状態の「音声停止中」は正常です。

操作 16

# 個別通話・聞くだけの権限を選ぶ

生徒PC / 音声権限




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

**1 使い方を選ぶ**
双方向なら「個別通話も許可」、教師の声だけなら「教師の声を聞くだけ」です。

**2 保存する**
表示された相手と許可内容を確認して保存します。

**確認：登録済み教師へ、必要な音声の範囲を保存できた。**

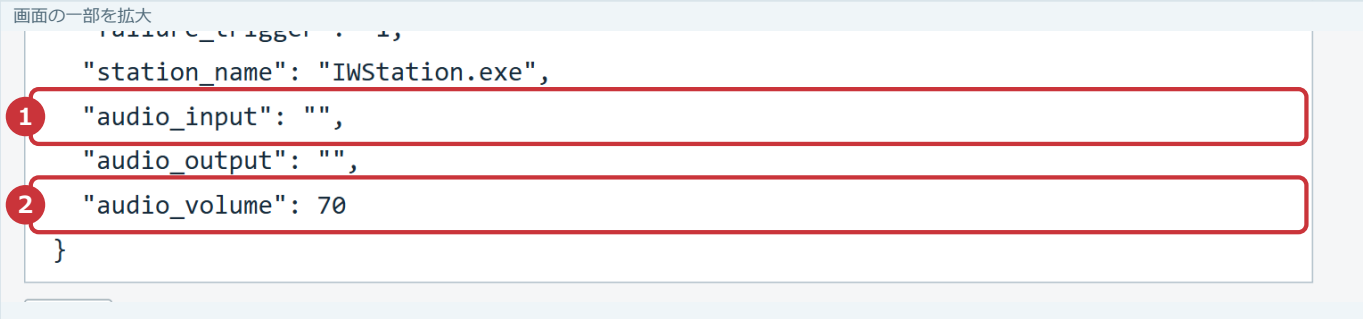
マイクとスピーカーは両側で事前に試します。音の回り込みを防ぐため、最初はヘッドセットを使います。

操作 17

# 音声の機器・音量を設定する

両側PC / IWSeditor

画面の一部を拡大




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **入力・出力を選ぶ**
audio_input／audio_outputが空欄ならWindowsの既定機器を使います。機器名を指定する場合は実際の名前を入れます。

2 **音量を設定する**
audio_volumeは0-100、初期値は70です。保存後に設定を読み直します。

**確認：両側のWindowsでマイク入力と音の出力を確認できる。**

設定画面はテキスト編集です。専用の音声機器選択フォームがあるわけではありません。

操作 18

# 1人の生徒と通話を始める

教師PC / IWSeditor




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **audio_callを指定**
個別通話を開始する依頼です。

2 **登録済みPCを1台指定**
実際の登録名を使います。個別通話の対象をグループにはできません。

3 **保存して実行する**
データ読み込み依頼 → 実行依頼 → 完了確認を行います。

**確認：両側の状態が個別通話になり、声が往復する。**

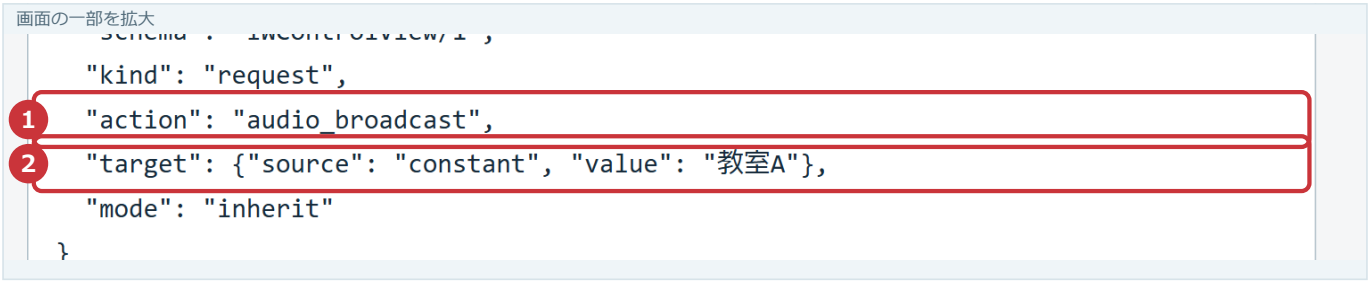
相手の音声権限は「個別通話も許可」にします。実機では約0.5秒の遅れが報告されていますが、環境で変わります。

操作 19

# 教師の声をグループへ送る

教師PC / IWSeditor

画面の一部を拡大




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

**1 audio_broadcastを指定**

教師のマイクを一斉配信します。

**2 登録済みグループを指定**

共通環境で作ったグループ名を使います。最大4台です。

**確認：生徒側で教師の音声受信中となり、教師の声が聞こえる。**

生徒のマイクは使わず、生徒の声は返りません。教材動画などPC内部の音を送る機能ではありません。

操作 20

# マイクを止める・通話を終える

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **音声状態を見る**
通話開始後、現在の状態を確認します。図は開始前の停止状態です。

2 **教師のマイクだけ止める**
個別通話では、生徒の声を聞くことはできます。

3 **音声を終了する**
通話を終えます。SEEDからはaudio_stopでも終了できます。

**確認：音声停止中になり、相手のマイク使用も終わった。**

教師マイクの再開はaudio_callまたはaudio_broadcastを再実行します。

操作 21

# 授業用アプリ・トリガーを許可する

生徒PC / 授業用権限




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1. **起動を許可するアプリを登録**
   実行ファイルと呼び出し名を登録します。

2. **許可するトリガー番号を登録**
   既存の生徒SEEDで使う番号を指定します。

3. **内容を確認して保存**
   教師のlaunch／trigger依頼は、ここで許可した範囲を使います。

**確認：登録済み教師が、許可した処理だけを依頼できる。**

Agentの「選択した登録PCの授業用アプリ・トリガー設定」から開きます。任意コマンドや未許可番号の実行はできません。

操作 22

# 切断して授業を終える

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **音声を先に終える**
音声停止を確認します。

2 **接続を切断する**
相手の表示枠が消えることを確認します。最後に教師側SEED・アプリを終了します。

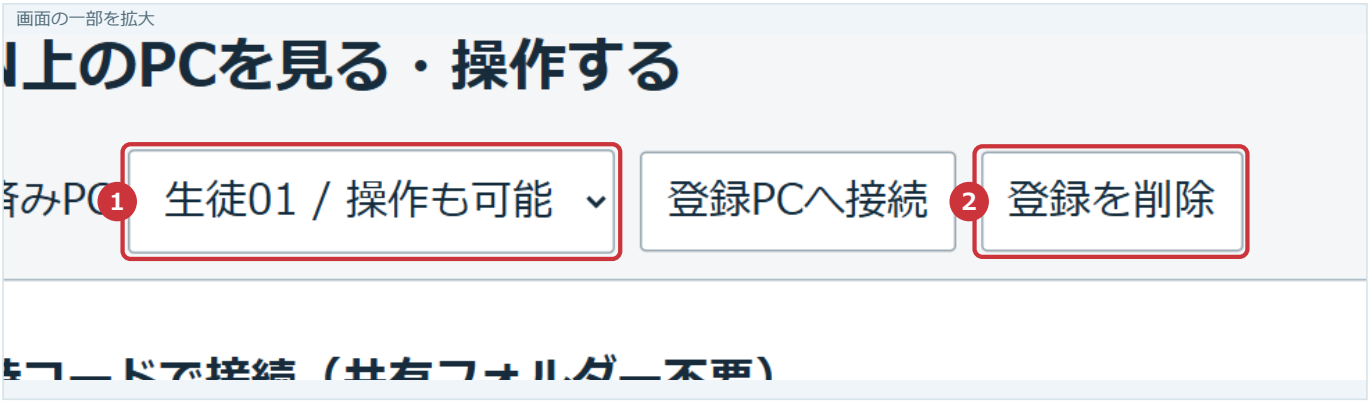
**確認：両側の接続・マイクが終了している。**

最小化では接続を続けます。アプリ終了時は接続を閉じます。生徒側も受付を終える場合はAgent側を終了します。

操作 23

# 教師側の間違えた登録を削除する

教師PC / Console




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **対象を間違えない**
消す登録名を一覧で選びます。

2 **登録を削除する**
確認後に削除します。接続中なら切断します。

**確認：教師側一覧から不要な登録が消える。**

相手側の許可そのものを取り消す場合は、次の生徒Agent側の登録解除も行います。

操作 24

# 生徒側で登録許可を取り消す

生徒PC / Agent




再現画面：現行の項目名に合わせた説明用の配置 / 赤枠・番号は本書の説明用

1 **解除する教師を選ぶ**
意図した登録を選びます。

2 **選択した登録を解除**
この教師からの再接続を拒否します。音声の許可も失効します。

3 **一時停止の場合**
「共有・操作を停止」は登録接続の一時停止です。恒久的な解除とは区別します。

**確認：対象の登録が使えなくなり、進行中の接続も終わる。**

登録はWindowsユーザーごとに保護保存されます。ユーザー変更や再導入後は再設定を確認します。

補足 01

# LAN・権限・結果の扱い

操作と設定の範囲を確認して使います。

| | |
|---|---|
| **IPアドレスとルーター** | LAN内では通常62441へ通信できる必要があります。IP自動取得でも使えますが、接続できないときはAgentの現在のアドレスと受付を確認します。外部向けに62441を転送する運用は本書の対象外です。 |
| **名前でつながらない** | 現在の数字のIPで試します。StreamerのLAN自動再検索と同じ動作は保証しません。必要なら管理者がDHCP固定割り当てを用意します。 |
| **権限は別々** | 画面・操作、ファイルフォルダー、音声、授業用アプリ・トリガーは別です。SEEDから未許可の権限を追加することはできません。 |
| **完了確認** | STARTの受付と処理全体の成功を区別します。音声開始の完了は、通話終了まで待つという意味ではありません。通知に失敗しても配布等を自動で再実行しません。 |

**現在の製品構成**

IWStation連携版として使います。単体起動を独立商品として案内しません。社外や別拠点への接続は、管理者がVPN等の構成と実機試験を別途検討します。

補足 02

# 困ったとき・授業前後の点検

まず1台で確認してから、対象を増やします。

| | |
|---|---|
| **接続が拒否される** | 生徒Agentが受付中か、アドレス・62441・10桁コードを正しい欄へ入れたか確認します。期限切れは再発行します。 |
| **閲覧中のまま** | 現在映像が出ている枠で「操作を要求」。保存権限と現在の操作状態は別です。必要なら生徒側の登録権限を確認します。 |
| **無音** | 音声開始依頼→登録教師の音声許可→両側の既定機器→Windowsのマイク利用許可・音量の順に確認します。 |
| **転送が拒否される** | 相手の許可フォルダー、書き込み、常時許可か一時許可かを確認します。Windows共有の認証は代わりになりません。 |
| **授業の前後** | 前：両側SEED・受付・1台の表示と音声を確認。後：音声停止・切断・教師SEED終了、相手側の接続・マイク終了を確認します。 |
| **確認して展開する** | 開発確認版です。登録済みPCの上限32、同時接続最大4、操作は1台。大人数・長時間の性能保証は別途試験が必要です。 |

**入力欄のコピーとPC間共有の違い**

Ctrl+A／Ctrl+C／Ctrl+Vは設定や接続情報の入力で使えます。PC間でクリップボードを同期する機能とは別です。転送は専用画面を使います。